

細川 周平

◆著作活動

- * 論文 “Foreword”, *Unsilent Strangers. Music, Minorities, Coexistence, Japan*, Edited by Hugh de Ferranti, Masaya Shishikura and Michiyo Yoneno-Reyes, NUS Press, Singapore (National University of Singapore), xiii-xv
- * エッセイ「エギベルト・ジスモンチ『ダンス・ドス・エスクラヴォス(奴隷の踊り)』」『Jazz Tokyo』、N.300、2023年4月号
- * エッセイ「アーマッド・ジャマル追悼」『Jazz Tokyo』、N.301、2023年5月号
- * エッセイ「句めぐりを日課として」『ブラジル日系文学』（『草樹』再掲載）N.72 2023年3月号、13-16頁
- * エッセイ「室井尚を偲ぶ」室井絵里編『室井尚／情報宇宙 1955.3.24-2023.3.24』個人出版、100-103頁
- * エッセイ「吉村弘展 風景の音 音の風景」『Jazz Tokyo』N.304、2023年8月号
- * エッセイ「渡辺貞夫」『Jazz Tokyo』N.306、2023年10月号
- * エッセイ “In Memory of Toru Mitsui (1940-2023)”, *Popular Music*, vol.42/2, with Yusuke Wajima, pp.196-201
- * エッセイ「私はこれを見た」太田和彦編『伝説のカルト映画館 大井武蔵野館の6392日』立東舎、45-46頁
- * エッセイ「エルメート・パスコアルと彼のグルッポ」『Jazz Tokyo』N.308、2023年12月号
- * エッセイ「音故知新一耳のつれづれおとづれ」『大阪保険医雑誌』N.689、2024年1月号4-7頁
- * エッセイ「無題」『読書アンケート2023—識者が選んだ、この一年の本』みすず書房、2024年2月、27-29頁

◆講座・講演活動

- * 講演の司会「私と日本音楽とその周辺（時田アリソン）」伝音センター春の特別講演会、伝音センター、7階合同研究室1 2023年3月31日
- * コメンテーター「シンポジウム 近代日本の洋楽受容とロシア」（オンライン）2023年6月18日
- * 講演「歩く音、歩く人 チンドンと新内流しから考える」京都市立芸術大学伝音セミナールーム、2023年11月3日、林幸治郎、新内三果
- * 講演「東西屋繁盛記—大道音楽の昨日今日」日本伝統音楽研究センターセミナールーム、2023年12月14日

◆委員会

- * 教育研究審議会
- * 全学人事組織委員会
- * 移転寄付推進委員会
- * 全学FD委員会
- * 芸術資源研究センター運営委員会
- * 第三期中期計画検討委員会
- * 自己点検・評価委員会

◆対外活動

◆所属学会等

- * 日本ポピュラー音楽学会

藤田 隆則

◆著作活動

- * 2023.07 単著エッセイ「伝承を科学する—掛け声は何のためにあるのか」『道標（仏教を身近にする伝道誌）』2023年夏季号（2023年7月1日）、p.4
- * 2023.09 単著エッセイ「伝承を科学する—能楽における無音の間の効力」『道標（仏教を身近にする伝道誌）』2023年秋季号（2023年9月1日）、p.4
- * 2023.12 単著エッセイ「伝承を科学する—能における囃子の役割」『道標（仏教を身近にする伝道

- 誌』2023年冬季号(2023年12月1日)、p.4
- * 2024.03 単著エッセイ「伝承を科学する一形見に込められる思いと迷い」『道標(仏教を身近にする伝道誌)』2024年春季号(2024年3月1日)、p.4
 - * 2023.05 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想(33)―楽譜の書字方向が生み出すもの」『楽報(都山流楽報)』1161号(2023年5月号) pp.2-3
 - * 2023.09 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想(34)―伝統音楽における「間」のはたらき―時間の切断」『楽報(都山流楽報)』1163号(2023年9月号) pp.2-3
 - * 2024.01 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想(35)―ゴムマリのリズム感と着地的リズム感と」『楽報(都山流楽報)』1165号(2024年1月号) pp.2-3
 - * 2023.10 単著論文「能の演奏をつらぬく君臣関係とその変化」『能と狂言(能楽学会機関誌)』21号(2023年10月)、pp.3-13
 - * 2023.12 単著論文「謡の節にこめられる演劇性―能の下歌・上歌」『日本文学研究ジャーナル』第28号(2023年12月)、pp.119-133
- ◆口述活動
- * 2023.04.25 能楽公演解説 *Lecture and Demonstration: Noh as Intermedia, Performing Intermedia in Japan. April 25th at 7:30pm at Dinkelspiel Auditorium, Stanford University.*
 - * 2023.09.21 曲目解説「夕顔」(FM能楽堂) NHKFM放送(2023年9月21日午前11時より)
- ◆プロデュース活動
- * 2023.04.25 能楽公演 *Lecture and Demonstration: Noh as Intermedia, Performing Intermedia in Japan. April 25th at 7:30pm at Dinkelspiel Auditorium, Stanford University.*
 - * 2023.12- 祝賀能〈翁〉付〈高砂〉特別企画:インタビュー&エッセイ(京都芸大ウェブサイト)

- * 2024.02.21-03.27 でんおん連続講座特別編 前期(全5回 2月21日~3月27日)

◆調査・取材活動

- * 謡曲・能の囃子の伝承にかかわる調査

◆学内活動

- * 理事
- * 教育研究審議会委員
- * 国際交流委員会委員
- * 附属図書館・芸術資料館運営委員
- * 全学人事組織委員会委員
- * 大学院音楽研究科兼任(日本音楽研究専攻の授業担当)

◆対外活動

- * 神戸女学院大学音楽学部非常勤講師(2023.09-2024.03)
- * 同志社大学文学部非常勤講師(2023.09-2024.09)
- * 文化庁文化審議会文化財分科会第四専門調査会委員
- * 所属学会 日本音楽学会、楽劇学会、東洋音楽学会、能楽学会、音楽教育学会、芸能史研究会、International Council for Traditional Music, Society for Ethnomusicology

竹内 有一

◆共同研究・競争的資金等の研究課題

- * 2020.04-2024.03 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(B) 20H01205「新出コレクション「西村公一文庫」の目録作成と江戸時代の日本伝統音楽の資料学的研究」研究代表者
- * 2022.04-2024.03 早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点公募研究「常磐津節正本板元坂川屋の出版活動」研究代表者
- * 2022.04-2025.03 日本伝統音楽研究センター共同研究「日本音楽研究における基礎的資料の再検討と新たな活用に向けて」研究代表者

◆著作

- * 2024.03.31 編著『常磐種 一天之巻(翻刻・注釈)』(常磐津節の伝承資料に関する調査報告書 2023年度、文化庁補助事業)、常磐津節保存会、

150pp

- * 2023.08.10 共著(項目執筆)『知っておきたい歌舞伎日本舞踊名曲一〇〇選』、淡交社、232pp
- * 2024.03 研究報告「常磐津節正本板元坂川屋の出版活動」(公募研究成果報告)『早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点 NewsLetter』14、pp.9, 23
- * 2023.11.19 要旨「新出コレクション西村公一文庫の特徴と可能性」(神津武男氏と共同発表)、東洋音楽学会第74回大会プログラム、p.21
- * 2023.05.13 演目解説「舞踊・地歌：鐘ヶ岬」
「舞踊・長唄：大原女」「舞踊・長唄：俄獅子」、「出演者紹介」(3名)、国立文楽劇場第39回舞踊・邦楽公演『新進と花形による舞踊・邦楽鑑賞会』パンフレット、日本芸術文化振興会、pp.3-8

◆講演・口頭発表等

- * 2023.10.04/10.11 対談出演「本日、米團治日和。」(桂米團治師)、KBS 京都ラジオ
- * 2023.10.05 対談「海外での歌舞伎公演」(常磐津文字太夫師)、常磐津節保存会第8回伝承事業成果発表会、池坊短期大学洗心館「悠々」
- * 2023.11.19 研究発表「新出コレクション西村公一文庫の特徴と可能性」(神津武男氏と共同発表)、東洋音楽学会第74回大会、京都教育大学
- * 2024.03.07 研究報告「常磐津節正本板元坂川屋の出版活動(2023年度)」、早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点成果発表会(オンライン開催)
- * 2024.03.05 企画構成・司会「伝音ライブ! #01 重森三果」、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター、伝音セミナールーム
- * 2024.03.18 企画構成・司会「伝音ライブ! #02 椿紅静月」、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター、伝音セミナールーム

◆調査・取材

- * 文化庁補助事業「常磐津節の伝承資料に関する調査」(常磐津節保存会)
- * 常磐津節ほか三味線音楽の伝承・演奏に関わる実態調査
- * 常磐津節演奏者個人蔵の記録・譜本・音源資料等の

調査

- * 詞草本出版物(近世版本)等の書誌調査およびデータ作成

- * 柳原六斎念仏の調査

◆社会貢献活動

- * 京都市立芸術大学公式クラブ「常磐津部」顧問・指導
- * 崇仁の祭り囃子伝承支援(崇仁お囃子会月例稽古ほか)
- * 2023.04.16 奉納演奏 常磐津節「松島」、京都芸大常磐津部、桂御霊神社
- * 2023.09.02 崇仁お囃子会出演サポート、下京区サマーフェスタ(京都駅)
- * 2023.10.01 崇仁お囃子会出演サポート、京都市立芸術大学開校式
- * 2023.11.04 崇仁お囃子会出演サポート、崇仁文化祭(下京いきいき活動センター)
- * 2023.11.18 崇仁お囃子会出演サポート、崇仁鉾新収蔵庫お披露目会
- * 2024.01.14 常磐津節「松島」「将門」「雷船頭」「うつぼ猿」、常磐津部ミニコンサート(常磐津部展2024)、京都市立芸術大学講義室13
- * 2024.02.24 学習ひろば「笛をつくろう」コーディネーター、崇仁教育連絡会、崇仁児童館

◆演奏(常磐津節浄瑠璃方、芸名：常磐津 若音太夫)

- * 2023.05 常磐津節「お三輪道行」(歌舞伎)、歌舞伎鑑賞教室、京都南座
- * 2023.05.16 常磐津節「大和団子」「水売り」、NHK-FM「邦楽のひととき」
- * 2023.07.01 常磐津節「お夏狂乱」、奏会、高津宮
- * 2023.08 常磐津節「釣女」(歌舞伎)、第33回上方歌舞伎会、国立文楽劇場
- * 2023.09 常磐津節「釣女」(歌舞伎)、永楽館歌舞伎、出石永楽館
- * 2023.10.07 常磐津節「お妻」、関西常磐津協会第82回公演会、西宮市プレラホール
- * 2023.10.14 常磐津節「籠源太」「栗餅」(舞踊)、東西名流舞踊鑑賞会(第41回舞踊公演)、国立文

楽劇場

- * 2024.02.10 常磐津節「屋敷娘」、令和5年度
京の伝統文化体験事業「ようこそ和の空間」、京都
観世会館
- * 2024.03 常磐津節「将門」（歌舞伎）、三月花形
歌舞伎、京都南座

◆教育・講義

- * 前期／後期 日本伝統音楽基礎演習 a1～4、京都
市立芸術大学大学院音楽研究科
- * 前期／後期 日本伝統音楽研究 a1～4、京都市立
芸術大学大学院音楽研究科
- * 前期 音楽学特殊研究 h、京都市立芸術大学大学院
音楽研究科
- * 前期 音楽学特講 h、京都市立芸術大学音楽学部

◆所属学協会

- * （一社）東洋音楽学会、楽劇学会、藝能史研究会、
歌舞伎学会
- * 常磐津協会、（一社）関西常磐津協会

◆学外委員

- * 文化庁 文化審議会文化財分科会 第四専門調査会委
員
- * 文化庁 伝統芸能用具・原材料に関する調査事業委員
- * 文化庁 邦楽普及拡大推進委員会委員
- * 京都市 芸術文化特別奨励制度 審査委員会専門委員
会委員
- * 京都市 伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム審
査会委員
- * 京都市 伝統芸能文化創生プロジェクト推進会議委
員
- * 京都市 舞台芸術企画運営委員会委員
- * （公社）文楽協会評議員
- * （一社）東洋音楽学会 理事、機関誌編集委員、大会
実行委員

◆学内委員・役職

- * 京都市立芸術大学：教育研究審議会委員、移転担当
委員、ギャラリーアクア運営委員会
- * 日本伝統音楽研究センター：資料委員会 委員長、将
来構想委員会 委員長、予算整備委員会 副委員長、移
転対策委員会 副委員長、人事組織委員会 副委員長

田鍬 智志

◆監修（著述）

- * 2023・12・08 「舞楽楽譜作成に際して」、白幡
富幸・内藤明廣・田鍬監修、伊藤慶佑作譜、打田文
博・白幡富幸・田鍬執筆『令和新訂 小國神社十二段
舞楽楽譜』6～7頁、小國神社発行。

◆講演（演奏）

- * 2023・05・13 第61回公開講座「順次往生講
式一平安後期・鎌倉期の管絃声歌つき講式の世界
一」、出仕者：天納玄雄・鷹阪龍哉・守谷俊岳・中
川佳代子・伊藤慶佑・池内奏音・伊藤亜希子・アン
ドレア ジョライ・荒野愛子・関本彩子・田鍬、式文
全段・唐楽催馬楽曲23曲、於大原寺勝林院本堂。
- * 2023・11・05 『源氏物語』の雅楽曲—古い楽
譜の解説と演奏—（五感で楽しむ古の文化講座 第3
回 聴覚）、演奏：伊藤慶佑・池内奏音・伊藤亜希子・
田鍬、宇治市生涯学習センター第1ホール。

◆音声（映像）展示

- * 2023・11・22～2024・01・08 「一遍上人
への供養舞楽《秦王破陣楽》—鎌倉時代の楽を再現
する—」、令和5年度秋の企画展『備後一宮吉備津
神社展』、広島県立歴史博物館（草戸千軒ミュージ
アム）。

◆音声提供（再掲）

- * 2023・11・01 「古楽譜解読による雅楽〈青海
波〉～平安時代の雅楽を再現する～」①音源 ②解
説）、足立直子ほか監修『改訂版 プレミアムカラー
国語便覧』49頁（ページ内QRコード読み込みに
よる視聴）、数研出版。

◆調査

- 因幡の麒麟獅子・中世日吉小五月会関連調査（科研）
- * 2023・10・07～09 牛戸神社例祭・弓河内神
社例祭・中井神社例祭・長瀬神社例祭（以上 河原
町）・百先神社例祭（鳥取市）
- * 2024・01・04 馬の博物館見学（横浜市）
- * 2024・03・10 山路神社（八頭町）
- * 2024・03・31 彌長神社例祭・赤子田神社例
祭・美取神社例祭（岩美町）

民間雅楽団体（共同研究）調査

- * 2023・05・05 下新川神社楽人（守山市下新川神社例祭）調査。
- * 2023・05・08 松尾寺仏舞保存会（舞鶴市松尾寺仏誕会）調査。
- * 2023・05・14 楽講（有田市得生寺中将姫来迎会式）：調査。
- * 2023・05・20-21 錦織寺雅楽会（野洲市 錦織寺親鸞聖人御誕生会）調査。
- * 2023・12.13 龍谷大学図書館資料調査。
- * 2024・02.25（旧）賤岳義会（長浜市伊香具神社オコナイ神事）調査・宇根雅楽会（長浜市春日神社祈年祭）調査。
- * 2024・03・16 小篠原楽人（野洲市稻荷神社拝殿竣工奉祝祭）調査。
- * 2024・03・20 正浄寺の雅楽保存会（大田原市正浄寺春彼岸永代経法要）調査。

小國神社十二段舞楽楽譜作成にかかる調査

- * 2023・09・03 聞き取り調査（於小國神社社務所）
- * 2023・11・03 聞き取り調査（於小國神社舞楽会館）

◆伝承活動

- * 2021・08・20 弥勒寺千本燈明会（六斎念仏奉仕、御所市東佐味）

◆学内活動

- * 担当科目：日本音楽史 I（音楽学部）、日本伝統音楽研究、日本伝統音楽基礎演習、原典研究日本古典（大学院音楽研究科）
- * 自己点検評価委員会、学生委員会
- * 大学院修士入試委員会、教務委員会

武内 恵美子

◆共同研究・競争的資金等の研究課題

プロジェクト研究：儒教と文人の世界観に展開する「楽」思想の諸相研究

科学研究費補助金

- * 研究代表者 基盤(C)「江戸時代の藩校における音楽教習・楽実践から楽思想構築に至る楽文化の総合的研究」(2016 - 2024) 研究課題番号：

16K03022

- * 研究分担者：基盤研究(B)「新出コレクション『西村公一文庫』の目録作成と江戸時代の日本伝統音楽の資料学的研究」(研究代表者：竹内有一) 2020-2024年度。

◆著述

- * 「尺八と七弦琴」(公開講座「尺八と七弦琴—明治期文人への追憶」) プログラム9 (2024年3月、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター)

◆講演

- * 「尺八と七弦琴 —明治期文人への追憶—」2024年3月22日、於 善慧院

◆学内活動

- * 担当科目：原典研究 I・III、日本伝統音楽演習 BI・III、日本伝統音楽演習 BII・IV、日本音楽史
- * 芸術資源研究センター副センター長、リポジトリ運営委員会、ハラスメント防止対策委員会、学術委員会、国際交流委員会、情報管理委員会

◆学外活動

- * 文化庁令和3年度芸術選奨推薦委員
- * 文化庁令和3年度芸術祭関西音楽部門審査委員
- * 堀川音楽高校 非常勤(日本音楽史)

齋藤 桂

◆著述活動

- * 共編著書：沼口隆、安川智子、齋藤桂、白井史人【共編著】『ベートーヴェンと大衆文化 — 受容のプリズム』春秋社、2024年。
- * 書評：「北九州市立大学 李東俊ゼミナール『「BTS学」への招待：大学生と考える BTS シンドローム』(明石書店) Jiji.com <https://www.jiji.com/jc/v8?id=202304shohyo18&> 2023年4月10日。
- * 書評：「阿部万里江『ちんどん屋の響き』『日本経済新聞』2023年5月7日。
- * 書評：「松本直美『ミュージック・ヒストリオグラフィ―』『週刊読書人』2023年7月21日。
- * 書評：「三輪眞弘監修／岡田暁生編『配信芸術論』『週刊読書人』2024年1月26日。
- * その他、時事通信に洋楽新譜紹介24件。

◆講演

- *「JENESYS2022 日中青年オンライン交流（伝統音楽）」2023年5月24日、オンライン開催。
- *細川周平、大熊ワタル、齋藤桂「帝冠様式の時代と音楽」2024年11月12日、於：誠光社（京都）。

◆対外活動

- *日本音楽学会全国大会実行委員
- *所属学会：日本音楽学会、東洋音楽学会、European Association for Japanese Studies

◆科研費

- *研究代表者：基盤研究（C）「近現代日本における「股旅もの」芸能の研究」2019-2024年度（延長）。
- *研究分担者：国際共同研究加速基金「東欧の音楽文化に関する民俗学的調査と編曲作品研究」（研究代表者：伊東信宏）2019-2024年度（延長）。
- *研究分担者：基盤研究（B）「新出コレクション『西村公一文庫』の目録作成と江戸時代の日本伝統音楽の資料学的研究」（研究代表者：竹内有一）2020-2024年度。